

# ハピネス

～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～



## 「男女共同参画社会に関する市民意識調査」の実施及び 「沼田市第3次男女共同参画計画」計画策定委員の公募について

市では、平成27年度に予定している「沼田市第3次男女共同参画計画」策定の基礎資料とするため、「男女共同参画社会に関する市民意識調査」を実施いたしました。

アンケートにご協力いただきました方には、厚く御礼申し上げます。

(市民意識調査結果の概要については次ページに掲載しています。)

「第3次男女共同参画計画」については、新たに計画策定委員会を組織して策定にあたります。なお、計画策定委員会の委員として市民みなさんの中から若干名を公募する予定です。

公募についての詳しい内容は「広報ぬまた4月号」に掲載いたしますので、策定にご協力いただける方の応募をお待ちしております。

## 男女共同参画社会とは



男性も女性も、お互いがその人権を尊重しつつ、あらゆる分野にも性別のかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮して参画でき、かつ共に責任を担う社会のことです。

この社会を実現するために、平成11年には「男女共同参画基本法」が制定されました。沼田市においても平成23年に「沼田市第2次男女共同参画計画」を策定し、様々な取り組みを行っています。

# 市民意識調査結果の概要

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

市民の男女共同参画社会に関する意識の実態を把握し、「沼田市第3次男女共同参画計画」を平成27年度に策定する際の基礎資料とすることを目的に実施しました。

### 2. 調査期間

平成26年10月8日（水）～平成26年10月24日（金）

### 3. 調査対象者

20歳以上70歳未満の市民の中から、2,000人を無作為に抽出

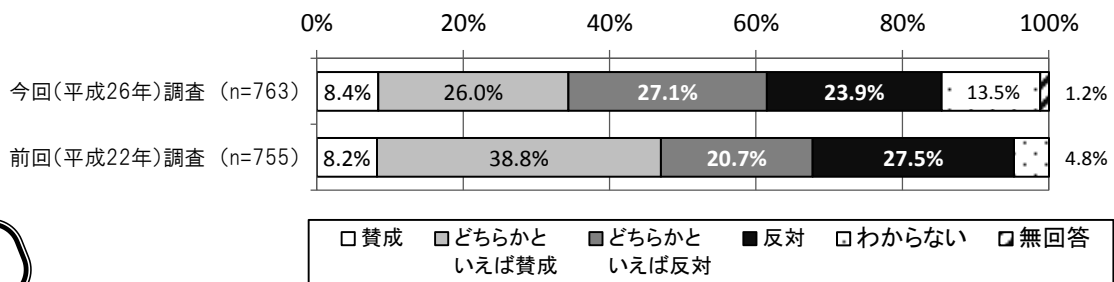
### 4. 回収結果

調査対象者	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000件	764件	763件	38.2%



## II. 調査結果(抜粋)

問. あなたは、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という考えについて、どう思いますか。



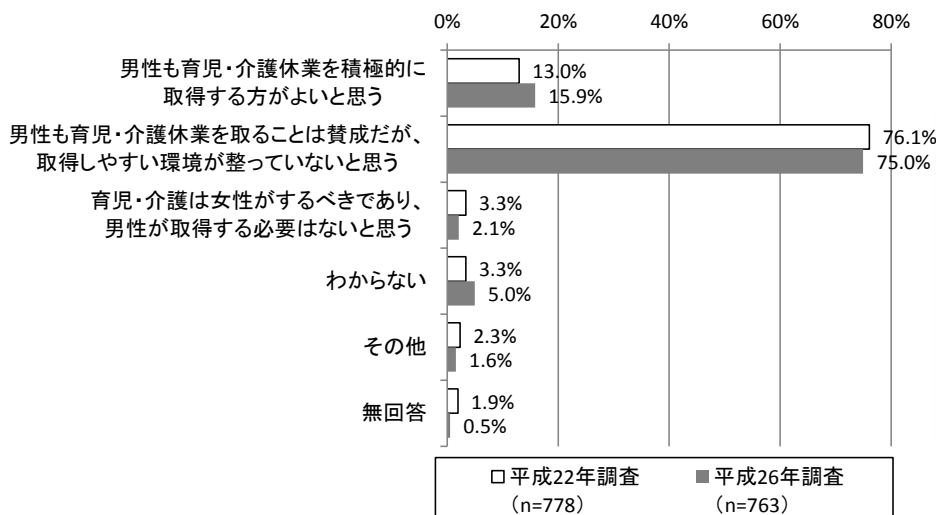
### ポイント

前回の調査（平成22年）と比べると、「どちらかといえば賛成」が12.8ポイント少なくなり、「どちらかといえば反対」が6.4ポイント増えています。

また、今回の調査では「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせた、反対との回答が5割を超えました。

『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という考えは、性別によって役割を固定してしまう考え方であり、個々の違いや、それぞれの選択、可能性を見過してしまうことにつながるため、解消していかなければなりません。

問. あなたは、男性の育児・介護休暇の取得について、どのように考えますか。



### ポイント

前回の調査と比べて、ほとんど変化はありませんでした。

約9割の方が、男性も育児休業や介護休暇を取得することに「賛成」と回答していますが、そのうちの7割以上の方が「環境が整っていない」と回答しています。今後は男性も取得しやすい社会に変えていく必要があります。

※ 調査結果全体の報告書は3月下旬に市のホームページに掲載いたします

# 平成26年度男女共同参画セミナー報告

平成26年度の男女共同参画セミナーは『人口減少』に焦点をあてて、「人口減少から故郷を守るために！」をテーマに講演会と連続講座3回を開催しました。

## 講演会

講師 鈴木光司 さん (作家)



## 演題 「新しい家族のあり方 ～これからのパートナーシップ～」

平成26年9月27日(土)に保健福祉センターホールにおいて、鈴木光司さんの講演会を開催しました。

鈴木さんは、慶應義塾大学文学部仏文科卒業後、1990年に著書『楽園』が日本ファンタジーノベル大賞を受賞し作家デビューしました。その後、『リング』が大ベストセラーとなり、続編『らせん』で吉川英治文学新人賞を受賞し、2013年には『エッジ』でアメリカの文学賞、シャーリージャクソン賞を受賞しました。執筆活動の傍ら、自称「文壇最強の子育てパパ」として、自らの子育て体験を通し、講演活動も行っています。今回は家族の絆や父親の役割などについてお話をしていただきました。

## パートナーとの亀裂は小さいうちに言葉で埋めることが大事！

鈴木さんは大学卒業後に塾の講師をしながら執筆活動を続けているときに、高校教諭だった奥様と結婚されて、2年目には長女が生まれました。奥様はフルタイムで働いており、鈴木さんの方が比較的時間が自由になる立場だったことから、家事・育児は鈴木さんがすべてやられたそうです。当時は父親も積極的に育児参加をした方が良いとの認識があったわけではなく、2人の状況を考えたときに「当然、俺がやるしかないじゃん」と思って始めた子育てですが、忍耐強く子育てをしていると、人間がひとまわり成長したのか小説のレベルも上がったそうです。また、あるときに洗濯の仕方が原因で奥様と口論になった時は、2人の育った歴史から話をして互いに納得する解決策をみつけたエピソードのお話をいただきました。

パートナーといっても、2人とも違う環境、違う規則のなかで育ってきている、自分のルールを相手に押しつけると必ず亀裂が生まれる。最初は小さいな亀裂かもしれないが、放っておくとどんどん開いて修復が不可能になってしまう。亀裂は小さいうちに言葉を使って、お互いにしゃべってすぐに埋めることが必要と説明していただきました。

この他に『リング』がベストセラーになるまでの経緯や、家事・子育てのエピソードなどをユーモアたっぷりにお話ししていただきました。

参加者からは、「パートナーシップの大切さを感じた」などの感想をいただきました。



## 連続講座

連続講座は前田さんを講師に迎え「人口減少」をテーマに、3回の連続講座として開催しました。第1回は人口減少の現状と課題を学び、第2・3回はカフェ形式で参加者同士が話し合える場としました。

講師：前田由美子さん

(共愛学園前橋国際大学  
地域共生研究センター研究員)



### ●第1回( H26.10.29 )「ふるさと沼田」消滅の危機～地域から人がいなくなる現状～

人口減少(少子化)の現状や原因、課題について学びました。

男性の低収入化や、女性の育児と家事・就労の両立困難が少子化の一因となっています。

### ●第2回( H26.11. 5 )地域を守るのは私たち！～今の沼田はどんな状況？～

### ●第3回( H25.11.12 )地域を守るのは私たち！～守ろう沼田、そのためには～

第2回は少子高齢化の進んでいる沼田の現状について、第3回はその解決策について参加者同士でグループに分かれて話し合いをしました。

現状では、「子どもの遊ぶ場所がない」、「働く場所がない」、「観光のアピールが下手」、「交通の便が悪い」などの意見が、解決策として、「中心市街地の改造計画」や「空き家利用」など様々な意見がだされました。**カフェ継続決定!(詳しくは裏面に)**





みんなで、語り合える

# カフェ (Café)

を開催します！

参加無料

『消滅可能性都市』、この言葉を聞いたことがありますか？

『消滅可能性都市』とは、昨年5月に「日本創世会議」が発表した、人口減少により 2040 年までに行政機能の維持が難しくなると予想される自治体のことです。全国の市区町村のうち896の自治体が消滅する可能性があるとしており、沼田市もこの中に含まれています。

昨年開催した「男女共同参画セミナー」（前ページ参照）では、この人口減少に焦点をあてて、沼田を消滅させないためにはどうしたら良いかを男女共同参画の視点から参加者同士で話し合っていました。

参加者の方からは、「今まで話し合える場がなかったので大変良かった」「こういう場を継続して開催して欲しい」など、大変好評な意見をいただきましたので、継続してCaféを開催することとしました。

開催は不定期ですが、興味や関心がある方は、下記の【お問い合わせ】までご連絡ください。カフェ開催時にはご連絡をさせていただきます。

## 開催するカフェはこんな café です！

- お茶を飲みながら、みんなが気軽に語り合える場とします。
- 沼田（利根沼田地域）を良くしたいと思っている人たちが自由に語り合える場とします。
- 語り合う話題は、地域のこと、子育てのこと、家族のこと など地域づくりに関する様々な内容とします。
- 参加無料で、どなたでも参加できます。

**是非、一度参加してみませんか！ ご連絡をお待ちしております！**

（注）このカフェは市に対する苦情や要望をお聞きする場ではありません。

## とらいあんぐるん相談室

### 女性の電話相談室

県では女性からの電話相談をお受けしています。

相談専用電話

☎ 027-224-5210

相談日・時間

火～金曜日 9:00～12:00、13:00～16:00  
土・日曜日 9:00～12:00

※月曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）は休み  
月曜日が祝日の場合、直後の平日も休み

相談内容

- ・自立して能力を発揮したい
- ・夫婦、家族のことで悩んでいる
- ・仕事と家庭生活の両立で悩んでいる など…

どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。専門の相談員がお話をうかがい、あなたの心の重荷が少しでも軽くなるようお手伝いします。

（相談無料、秘密厳守です。）

【発行・編集・お問い合わせ】

沼田市役所 市民部生活課協働推進係

〒378-0053 沼田市東原新町 1801-72  
保健福祉センター2階 市民活動センター内  
TEL/FAX 0278-22-8444  
E-mail: numatanchi@ia5.itkeeper.ne.jp

